

2024年度 福祉関係者のための地域ネットワーク実践力養成研修 事前課題のご記入にあたって

I 「事前課題」のねらいと活用方法

- 今回提出いただく「事前課題」では、受講者の皆さんに本研修を通しての自分自身の「気づき」を確認していただくために、『地域包括支援センター社会福祉士「評価シート」』（以下「評価シート」という）をツールのひとつとして活用しています。
- まず研修受講前に、日頃のご自身の実践を振り返りながら課題用「評価シート」にご記入ください。
- 課題用「評価シート」は、前期スクーリング2日目の講義「中間課題の説明」で活用します。（ただし、個別のフィードバックは予定しておりません。）
- ご記入いただいた課題用「評価シート」は、前期スクーリング1日目の受付にて、1部（コピー）をご提出ください。その他、自分用の原本（1部）も必ずご持参ください。
- 課題用「評価シート」（自分用の原本）については、1月の後期スクーリングが終了するまで、大切に保管してください。

II 「評価シート」の内容と記入方法

1. 「評価シート」とは

- 「評価シート」とは、地域包括支援センター（以下「センター」という）の社会福祉士が、業務を具体的にどのように行っているかを自己評価し、それを評価者（支援者）とともに確認していく作業を通じて気づきを得て、自らの力量を高めていくことを目的として、（公社）日本社会福祉士会が開発したものです。
- 「評価シート」では、センター社会福祉士として担うべき大切な業務や機能を、「地域レベル」「組織レベル」「個別レベル」の3つに分けて整理しています。
- 「地域」「組織」「個別」は、以下のような意味で使用しています。

地域とは……センターとして働きかけを行う、圏域内、所在自治体の地域住民、関係機関、行政等を想定しています。

組織とは……センターとして業務を遂行していく上でかかわりのある、センター3職種、センター組織全体、法人などを想定しています。

個別とは……センター福祉士職業務の中で個別にかかわるすべての人を想定しています。
なお、項目文中では、「本人」と表現しています。

- この「評価シート」には、ネットワーク形成するための重要な視点が含まれています。網掛けについては記載する必要はありませんが、項目を読んで、日常の「地域レベル」「組織レベル」「個別レベル」の実践を振り返ってください。
- 地域包括支援センター以外の方は、自らの実践現場に読み替えて、現在の実践を振り返ってください。**

2. 記入方法等

- 課題用「評価シート」の以下の項目についてご記入ください。今回は「評価シート」の全項目ではなく、ネットワーク構築との関連性がある項目(一部)について、記入をお願いしています。

頁	記載いただく項目	ご記入いただく内容(留意点)
1	あなたのプロフィール 課題用「評価シート」Ⅰ	※事前課題としてご記入ください。
2	総合相談支援業務にあたっての基本的な姿勢として、あなたが大切にしていること 課題用「評価シート」Ⅱ	※事前課題としてご記入ください。
2 5 7	地域、組織、個別各レベルの以下の各項目 地域レベル(1~13) 13項目 組織レベル(1、6、7、8、12、15、22) 7項目 個別レベル(9、10、15) 課題用「評価シート」Ⅱ	○自己評価(5段階)のチェック ・それぞれの項目について、あなたご自身はどの程度実践できていると思いますか。自己評価欄のあてはまる番号に○をつけてください。 ○自己評価の根拠(具体的根拠) ・上記、自己評価の根拠を具体的にお書きください。 ・記入にあたっては、「評価の着眼点(例)」を参考にしてください。 ○各レベルの対応や取り組みとして課題を感じていること ・センター社会福祉士としての取り組みのなかで、特にどのようなことを課題と感じていますか。「地域レベル」、「組織レベル」、「個別レベル」それぞれについて、各項目最後の欄に具体的にお書きください。
7	ご記入を終えて 課題用「評価シート」Ⅲ	・全体を記載して、あなたにとってどのような気づきがありましたか。

- 事前課題では、「研修受講前」の欄にご記入ください。

事前課題として、太枠内「研修受講前」を記入し、コピーを1部とり、前期スクーリング初日の受付で、コピー1部をご提出ください。(その他、自分用の原本もお忘れなくお持ちください。)